

第24回市民との意見交換会・報告書（鶴城地区）

開催地区： 鶴城地区	開催日時： 令和3年11月13日（土）	18時00分 ～ 19時20分
担当班： 第3班（出席議員）戸川稔朗、横山 淳、長郷潤一郎、高梨 浩、小畑 匠／（班外）清川雅史		
開催場所： 鶴城コミュニティセンター		
参加人数：男性 5名、女性 0名、合計 5名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 0名）		
<p>・ 今般の事情を考慮し参加者を限定したことで人数は少なかったが、全員から十分意見を伺うことができた。</p> <p>1. 議会報告、市政全般についての総括</p> <p>①除排雪と雪ため場について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地区や町内の事情を最も把握しているのは町内会であり、緑地、空き地、民有地等の利用を検討して雪ため場を設置するには、区長や、町内会会長などを中心とした地区や町内の取組に委ねられていることを実証する良い事例が示された。 <p>②スーパーシティ構想について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 会津財布の登録のため、市政だより掲載の案内どおりに申し込みをしても、電話を掛け直すように言われたり、スマートフォンのバージョンが古いという理由で登録できなかった事例が報告された。改善検討や丁寧な説明が必要ではないだろうか。		

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
広報議会11月1日号には、観光に関する議論が掲載されていないが、議論はあったのか。	教育旅行で来訪した子どもたちには、「教育旅行用あいづ観光応援券(あかべこ券)」というクーポンを配り、一定の経済効果があった。市民向けにはプレミアム商品券の発行、事業者には、事業継続支援金や事業再開助成金等の支援事業を行った。これらの事業について、決算審査等を通して議論をしてきた。	○	①		観光
花春町の鶴ヶ城土塁跡地に民間事業所がアパート建設を進めているが、当該地は文化史跡であり桜並木も美しい。市のかかわりはどうか。	民地であり、文化史跡としての調査をふまえて開発許可が出された。一方土塁そのものは市の文化遺産(文化財)としての所有物であり、今後も清掃、枝払い等、その維持、管理に努めていく。	○	①		文化財整備
花春町の鶴ヶ城土塁跡地にアパートができれば、新しく10世帯が増えるが、町内会としては既存の町内会に編入するのか、新町内会をつくるのか。隣接の既存の2町内会から編入したい要望があったが、今後の市のかかわりについてどうなるか。	地区町内会の話し合いが基本である。後日、担当課に確認し、事後報告する。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後処理報告書P6に記載)	地域社会
以前まで天神町町内会は除雪後の雪ため場がなく、道路脇に寄せられていたが、町内会で探したところ15カ所を確保できた。町内のパチンコ店駐車場の一角への雪よせや用水路への排雪も合意できた。区長には町内の問題解決の権限が託されているのでそのための行政支援をしてほしい。	6年前、市内506町内会に除雪に関するアンケート調査を行ったところ、2割の町内会は自主的に雪ため場を設けている。市は除雪オペレーターと連携しているが、雪置場がない町内等については、排雪とセットで行う等工夫しているが、今後もさまざまなご指摘、ご意見を頂きたい。	○	①		雪害対策

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況		※項目 キーワード
		分類	番号	
除雪が比較的スムーズに進むようになってきた町内では、隣の町内まで除雪範囲を広げたり、スムーズに進まない町内には除雪車を増大して投入したりして、全体状況を把握しながら進めてほしい。	GPSシステム搭載の除雪車が稼働しているのは、そういう状況に対応するためであり、スーパーシティの住民恩恵はまさにそのために利用されなければならないと考える。住民の困った声、データ等を拾い上げ、解決に向かう手立てやシステムを構築するためにスーパーシティ構想がある。	○	①	雪害対策
文化振興団体の一員として意見を述べる。文化センター、鶴ヶ城体育館、風雅堂等は、年々老朽化が進んでいる。今後どのようになるか。	鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想に含まれる施設やその他の施設等、市の公共施設は長寿命化計画に基づき、いかに持続可能な施設として維持していくのか、という視点で個別に診断してカルテを作り、施設ごとに個別計画を作成し、修繕、維持、管理していく。壊して新築するという手法はないので当面は建て替えはない。	○	①	公共施設
市の公共施設の管理の仕方(持続可能な施設として維持していく)は理解するものの、県立病院跡地、第7次総合計画に示されている合併事業、城前住宅等が進められているものもあるとはいえ、当初の予定から大きく遅れているのではないか。道路拡幅計画を守って家を下げて建てた人は割が合わない。計画がなかなか実行されず、待ち切れないし、協力しようという気になれない。	まちづくりが遅れているという主旨の意見として受け止める。議会は、一般質問、予算決算審査等を通じて質疑を行い、計画の変更、見直し、新しい計画の必要性等について質疑し、提案してきた。	○	①	まちづくり
市民には多種多様な階層の方がおり、その声も当然多様である。市長は区長等の声を聞くため、タウンミーティングを行っているが、民間事業者や経営者などの声をもっと聴くべきである。議会こそが多様な声を聞く役割を持っているのだから、その仕組みを作してほしい。	令和4年8月からの通年議会導入に向けて議会で検討を進めている。会期をこれまでの年4回から1年間を会期とする。そのため必要に応じて議会を開き、委員会もいつでも調査できるようになることから、チェック体制をより厳しくする。また分野別意見交換会を委員会単位でどんどん開いていきたい。	●	①	意見交換会 議会運営

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
浜通りの震災復興の例に学び、先進地の情報や事例をどんどん取り入れ、ZOOMなどを活用して復興事業を進めてほしい。	議会でも先進地調査、政策研究等ではZOOMなどの活用を始めた。また感染防止のため自粛していた現地調査も再開した。ご意見として伺う。	○ ●	②		まちづくり 行政調査
「A i C Tが満室になりました」だけでなく、どのような技術や成果が生まれ、我々の市民生活がどのように変わるのかをもっと説明してほしい。身近な所では、磐梯町のスマホによる買い物支払いや、会津美里町の車に乗ったままの屋外シアターなどの取組のように、その成果を市民に見せてほしい。	ご意見として伺う。	○	②		まちづくり
市政だより11月1日号裏面に掲載されていた会津財布に登録しようと、記載の電話番号にかけたところ、別な所にかけて下さいと言われた。さらにそこにかけて、あなたの機種はアンドロイドで4年前のバージョン7で、古い機種のため登録できませんと言われた。バージョンに関係なく使えるような対応にしてもらわなければ意味がないと思う。	ご意見として伺う。	○	②		まちづくり
背あぶり山の風力発電の電気は横浜などに送ることになっているが、エネルギーの地産地消とは名ばかりで全くの逆ではないか。温暖化防止、脱炭素、再生エネルギーをアピールしているのだから、その恩恵を受けられるようにしてほしい。私たちは城前4つの町内会で市からの補助をもらって集会所を作った。皆のためにお金を使ってほしい。	ご意見として伺う。	○	②		環境

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済
 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
<p>市職員の事務効率を上げるために、民間意識の導入を取り入れ、職員数は現行の半分で良い。残りの職員は出向して民間支援に回るべき。下の職位の職員ほど細かく受け止めるが、上位職員ほど受け止め方が大雑把でぼんやりしている。</p> <p>(なお、閉会后文書にて、地域の活性化と問題点など市政への提言書をいただいた。)</p>	<p>職員定員管理計画に基づいて人事管理している。ご意見として伺う。</p>	○	②		行政

市民との意見交換会・事後処理報告書

鶴城地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>1. 花春町に建設中の新しいアパート10世帯の町内会加入について (P 2)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 花春町に建設中のアパート10世帯は今後どこの町内会に加入するのか。隣接の既存の2町内会から編入したい要望があったが市のかかわりは。</p> <p>【事後処理結果】 市の環境生活課、廃棄物対策課同席のもと、当該2町内会、区長会会長で話し合いの結果、新しく「(仮)花春北町内会」を作るということで合意し、今後は新しい入居者に提案し合意を得ていく。(11月15日、環境生活課より回答)</p>	